

秋の叙勲

晴れの受章 おめでと〜いございます

政府は、10月11日付で「第23回危険業務従事者叙勲」受章者を、11月3日付で「平成26年秋の叙勲」受章者をそれぞれ発表しました。

叙勲は、長年にわたりさまざまな分野で社会に貢献された人に贈られるものです。また、10月20日に法務大臣表彰も行われました。市内では次の皆さんが受章されました（了承を得た人のみ掲載しています）。



旭日双光章
【地方自治功労】
及川 洋一 さん
(中野町・73歳)

昭和62年から5期17年にわたり、市議会議員として地方自治の発展に貢献しました。在任中は市議会教育民生常任副委員長や市議会建設常任委員長を歴任。福祉施策や社会教育の推進に尽力しました。受章について「皆さんの支えで活動することができた。バリアーのないまちづくりへの活動を後押ししてくれた」と感謝の気持ちを表わしていました。



旭日単光章
【食料品加工業振興功労】
阿部 潤一 さん
(堤ヶ丘・81歳)

昭和8年創業の菓子舗を62年に受け継いで以来、時代にあつたお菓子作りを取り組んできました。仙台の和菓子店での修行が商売の原点で「お客様の好みを知ることが必要」と言います。毎年クリスマス時期には障がい者施設にケーキを贈る活動を続けてきました。受章について「私のような者がもらえらると思わなかった。驚いている」と話していました。



瑞宝小綬章
【教育功労】
遠山 晋一郎 さん
(大堤南・78歳)

昭和35年から、平成9年に遠野高校校長で退職するまでの37年間にわたり教職に就かれました。「子どもの可能性を見つけ、それを伸ばすお手伝いをするのが教師の役目」と思い、独自のカリキュラムで中学や高校の英語指導に尽力。バレーボール部の顧問としても活躍されました。受章について「ありがたいことです」と喜びを語っていました。



瑞宝双光章
【学校保健功労】
赤坂 孝夫 さん
(本石町・78歳)

昭和36年から学校歯科医を半世紀以上にわたり務めています。予防に勝る治療なしといい、児童生徒の虫歯予防への意識向上に尽力しました。受章について「引き受けた当初は歯科医が少なかったので複数校を担当した。昔に比べ虫歯がある子の割合が低下しているのがうれしい。長年務められたのは周囲の皆さんの支援のおかげです」と話していました。

瑞宝双光章
【更生保護功労】
中田 芳文 さん
(川岸・71歳)

昭和53年から36年間にわたり保護司を務められ、社会復帰を目指す人たちの支援を続けてこられました。罪を犯した人が地域社会で立ち直れるよう支えることが主な仕事ですが、犯罪への防止活動も行ってきました。一人一人に向き合い、適切な援助や指導を根気よく続けてこられ、受章について「大変恐縮しています」と謙虚に語っていました。



瑞宝単光章
【専門工事業務功労】
小國孝喜さん
(和賀町横川目・58歳)

昭和49年の入社以来、電気工事の現場で作業を続けてきました。作業の進行を円滑に行うため数々の資格を取得し技術の向上に努めました。沿岸で施工した現場が東日本大震災で流されたことを残念に感じており、受章について「身に余る光栄です。お客様の要望に応えられるよう仕事をしただけで、信じられないことです」と話していました。



瑞宝単光章
【消防功労】
高橋信一さん
(和賀町藤根・73歳)

昭和36年から旧和賀町消防団に入団以来、平成14年の退団まで地域の防災活動に尽力しました。分団長や副団長を歴任し団員との交流を大切にしながら長年の活動を続けてきました。ポンプ操法などの練習や広報活動にも熱心に取り組み、受章について「大変驚いている。職場も家族も活動に理解を示してくれたから続けてこられた」と感謝していました。



法務大臣表彰
【花巻人権擁護委員協議会会長】
安藤利勝さん
(上野町・75歳)

平成11年に盛岡北高校校長で退職後、15年10月から人権擁護委員として相談対応に尽力しています。「人権の仕事は初めてで勉強しながら続けてきました。解決を見つけるお手伝いが私たちの仕事です」と語り、23年度からは花巻人権擁護委員協議会会長として小中学校での人権教室やSOSミニレター配布をはじめ、その他の啓発活動に取り組まれています。

危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章
【警察功労】
安部詮三さん
(常盤台・71歳)

昭和36年から平成15年に退職するまでの42年間にわたり、主に交通部門で県民の交通安全に貢献しました。死亡事故が多く交通戦争と言われた時代に、いかに事故を減らすか対策をたて自治体とともに推進してきました。受章について「名誉なこと、めったに頂けるものでない。仕事をしてきただけです」と喜びを話していました。



瑞宝双光章
【警察功労】
小田島正志さん
(大堤南・70歳)

昭和38年から岩手県警に勤務し地域の安全・安心に尽力しました。パトカーや白バイでの業務や駐在所勤務を経て刑事課に勤務。殺人事件や知能犯への対応など警察での多様な業務に携わりました。昼夜に関係無く現場に向かい休日でも気が休まらなかつたと振り返り、受章について「恐れ多いこと。当たり前に仕事をしてきただけです」と話していました。



瑞宝単光章
【消防功労】
川邊隆司さん
(花園町・71歳)

昭和37年から平成16年までの42年間にわたり消防職員として勤務し市民の安全に貢献しました。昭和55年、本石町で起きたガス爆発では、非番ながら現場に急行し避難誘導や消火に当たりました。「川で溺れた子どもを助けお礼を言われたこともある」と振り返り、受章について「一緒に働いた仲間を代表して頂いたものと思う」と話していました。